

施策	目標項目	原状 (H24)	実績 (R1)	目標 (R2)	目標 (R7)	令和元年度(まで)の取組
基本方針1 安心な暮らしを支える下水道						
①浸水対策 【浸水被害の軽減を図るため、総合的な対策を推進する。】						
整備優先区域における雨水管の整備率	8.3%	14.9%	15%	16%	目標達成に向け管渠整備を進めています。	
整備優先区域におけるポンプ場の整備率	0%	54%	78%	78%	大和田ポンプ場(排水能力毎秒19.62立方メートル)を整備。	
メール等による情報発信サービス	—	—	開始する	開始する	平成28年度に市内10箇所に水位監視カメラを設置しました。	
浸水への備え、緊急対応の周知といった啓発行動回数	3回	2回	3回/年	3回/年	ビジュアルボードフェア(1回)・広報いちかわ(1回)にてお知らせを行いました。	
②地震対策 【いかなる時も下水道機能を確保するため、地震対策を推進する。】						
総合地震対策計画による管路の耐震化率	—	34%	63%	100%	目標達成に向け管路の耐震化を進めています。	
真間および菅野ポンプ場耐震化率(土木建築)	0%	0%	0%	100%	設計に向けた検討を進めています。	
総合地震対策計画の策定	—	完了	策定する	策定する	平成27年度に策定しました。	
下水道BCPに基づく訓練回数	—	8回	1回/年	1回/年	情報伝達訓練等を実施しました。	
③老朽化対策 【下水道機能の確実性を保つため、老朽化への対策を講じる】						
菅野処理区下水管長寿命化計画の策定	基本計画段階	完了	策定する	策定する	平成30年度に策定し、令和元年度に国へ提出しました。	
菅野処理区下水管長寿命化対策率	0%	0%	10%	15%	下水管長寿命化対策のための設計と調査を実施しました。(設計2地区、調査2地区)※工事についてはR2年度より開始予定です。	
真間および菅野ポンプ場長寿命化対策率	0%	100%	100%	100%	平成27年度～令和元年度までの長寿命化改修工事により電気設備・機械設備の更新を行いました。	
菅野処理区の流域下水道への編入	—	—	—	編入する	編入に必要な処理施設の整備予定の把握に努めています。	
柵渠の改修	—	改修計画に基づく改修に着手	改修計画に基づく改修に着手する	改修計画に基づく改修に着手する	改修計画に基づく改修に平成28年度に着手しました。	
排水ポンプ施設の改修	—	改修設計に着手	改修計画に基づく改修に着手する	改修計画に基づく改修に着手する	「本郷」「鬼高」の排水機場の改修工事に着手し、「本郷」は3月に完了しました。「鬼高」は令和3年に完了予定です。	
基本方針2 快適な暮らしにつながる下水道						
①下水道の未普及対策 【効果的・効率的な下水道整備を推進する】						
下水道普及率	69.8%	75.3%	76%	84%	令和元年度は約51haの区域で下水道が使用可能となりました。	
②総合的な公共用水域保全対策 【総合的な汚水処理方式により公共用水域の水質を保全する】						
全市汚水処理基本構想の再検証	—	再検証を実施	再検証を実施	再検証を実施	平成27年度に再検証を実施し、市内全域下水道による汚水処理が適正との結果が千葉県構想(平成28年度策定)に組み込まれました。	
高度処理型合併浄化槽への転換数(*)	—	28基	58基	100基	市川市公式Webサイト等で転換補助制度を紹介するとともに、浄化槽の適正な維持管理についてもお知らせしました。	
③水循環再生 【地下水の涵養等により、健全な水循環を育む】						
建築確認申請数に対する雨水排水届出数の割合	31.20%	10%	71%	100%	窓口での指導や貯留・浸透施設設置の助成制度を継続するとともにビジュアルボードフェア(5月)でお知らせを行いました。	
湧水量の確認	1回	1回	1回/年	1回/年	令和2年1月に確認を行いました。	
基本方針3 未来に生きる下水道						
①経営基盤の構築 【持続可能な下水道経営の基盤(財政・体制)を確立する】						
企業会計方式への移行	—	完了	移行する	移行する	平成30年4月1日に移行しました。	
適正料金検討(*)	—	2回実施	3回実施	4回実施	令和2年3月に策定した経営戦略では、今後10年間の収支均衡を図るために料金改定は不可避としており、今後改定に向けた検討を続けていきます。	
②管理の最適化 【健全で効率的な、維持管理の最適化を目指す】						
アセットマネジメント導入	—	—	—	導入する	アセットマネジメント導入に向けて、平成29年度に下水道台帳の電子化を完了しました。	
③効果的な下水道中期ビジョンの推進 【円滑な下水道経営のため、情報発信や進捗管理を行う】						
市民に向けた啓発活動・Web活動	—	1回	4回/年	4回/年	平成31年3月にデジタルサイネージ掲載。	
ビジョン進捗状況の公表	—	1回	1回/年	1回/年	今回の公表です。	

*印のあるものは期間中(平成26年度から)通算での数値。